

【質問】経口投与時の組織移行率は？

【回答】

ヒトでの治療標的組織における対血漿濃度比は、以下のとおりです。

肺胞上皮被覆液： 15.0～22.4

肺胞マクロファージ： 18.5～56

喀痰： 0.613

副鼻腔粘膜： 2.12

中耳粘膜： 2.04

口蓋扁桃組織： 2.76

[解説]

健康成人 30 例(各時間 6 例)にラスクフロキサシン(錠)75mg を単回経口投与後 1～24 時間での対血漿中濃度比は、肺胞上皮被覆液で平均 15.0～22.4、肺胞マクロファージで平均 18.5～56.4 でした。

呼吸器感染症患者 36 例にラスクフロキサシン(錠)75mg を経口投与後 1～3 時間での対血漿中濃度比は喀痰で 0.613 ± 0.289 (平均値±標準偏差) でした。

耳鼻咽喉組織摘出術施行患者(各組織 5 例)にラスクフロキサシン(錠)75mg を単回経口投与後 1～2 時間での対血漿中濃度比(平均値±標準偏差)は、副鼻腔粘膜で 2.12 ± 1.11 、中耳粘膜で 2.04 ± 1.83 、口蓋扁桃組織で 2.76 ± 0.784 でした。

出典：添付文書